

Ⅱ 令和3年度当初予算の主な施策

※令和2年度2月補正予算で計上した事業も一部含めて記載しています。

新型コロナウイルス感染症対策

- 令和3年度も、**新型コロナウイルス感染症対策**に万全を期すため、入院患者受入れのための**空床・休床確保**、医療機関向けの**個人防護具の確保**、**臨時医療施設**の整備、**入院医療費の公費負担**、**PCR等検査体制**の充実、**軽症者等**のための**宿泊施設**、**自宅療養者**への支援、**社会福祉施設等**の感染対策などに必要な経費を計上します。
- なお、**県独自**で行っている、**ICU・HCU**以外の休床分の確保における、**補助単価1万円の上乗せ**、及び**入院患者受入れ**に係る、**1人当たり50万円の協力金**についても、引き続き実施し、患者受入体制の強化を図ります。
- **ワクチン接種**については、**医療従事者**など優先接種対象者、及び**卸業者**との調整、**専門的な相談**への対応等を行い、**主体となる市町村と連携した円滑な実施体制**を確保していきます。
 - ※ 以上の感染症対策経費については、今後の状況が不透明なため、約半年分を計上しています。今後の状況を見定めながら、必要に応じ補正予算等を検討していきます。
- 感染症の影響で困難な状況が続いている、**中小企業の事業承継**を促進するため、**専門家による中小企業への直接訪問支援**を、**対象地域を県内全域**に広げ実施します。
- 一人当たり5,000円分のキャッシュバックや千葉ならではのプレゼント等を提供する**宿泊優待キャンペーン**については、国において、**GoToトラベル**の実施期間が**令和3年6月まで延長**されたことから、**同様に期間を延長し、春から初夏にかけての観光振興**を図ってまいります。

<主な事業>

・ 感染症患者受入れのための空床確保等事業	23,410,000千円 (16頁)
・ 医療機関向け個人防護具の確保・配布事業	320,000千円 (16頁)
・ 臨時医療施設整備運営事業	3,000,000千円 (16頁)
・ 入院医療費等の公費負担	920,000千円 (17頁)
・ 検査体制の確保	1,235,000千円 (17頁)
・ 軽症者等のための宿泊施設確保事業	4,707,000千円 (17頁)
・ 自宅療養者支援事業	165,700千円 (18頁)
・ 社会福祉施設等感染対策支援事業	395,338千円 (19頁)
・ 患者受入協力金	2,880,000千円 (16頁)
・ ワクチン接種体制の確保【新規】(2年度2月補正)	110,000千円 (17頁)
・ 事業承継支援緊急対策事業	60,000千円 (20頁)

- ・「ディスカバー千葉」宿泊者優待キャンペーン事業（2年度2月補正で繰越設定）
1,280,000千円（21頁）
- ・Welcome to CHIBA 観光キャンペーン事業（2年度2月補正で繰越設定）
1,200,000千円（21頁）
- ・「ちばと一緒に！」千葉の農林水産物キャンペーン（2年度2月補正で繰越設定）
130,000千円（21頁）

デジタル社会の推進

- 介護事業所、障害者支援施設等の**社会福祉施設**について、従事者の負担を軽減する**ロボット**や、業務効率化のための**事務支援ソフトの導入**などに対する助成を増額します。
- **中小企業等**に対しては、AI等の活用など、スマート化を推進するための相談窓口を設置するとともに、**専門家による導入支援**を行います。また、「働き方改革」を推進するため、**テレワークの導入**などの支援を行うとともに、各種支援策や取組事例等を掲載したポータルサイトを新設します。
- **農産分野**と**園芸分野**の生産性向上を図るため、**作業の自動化**や**栽培環境の最適化**に資する機械等の導入支援を行います。
- **外国人旅行者**への情報発信を強化するため、スマートフォンなどでの問い合わせにAIが会話形式で応答する、**AIチャットボット**を導入し、あわせて必要な情報を集約した英語版の特設サイトを構築します。
- **県立学校**においては、英語を話す力を強化するための**AIソフト**や**音声リーディングソフト**、パソコン等の備品を配備するなど、生徒の効果的な学習環境を整備していきます。
- **児童虐待事案**に適切に対応するため、児童の情報を的確に把握し、かつ、資料作成等を効率的に行うための**児童相談所支援システム**を開発します。また、迅速に連絡調整を行うため、タブレット及びスマートフォンを活用していきます。
- **行政手続きのオンライン化**や**ビジネスチャット**の導入等による事務処理時間の削減など、**県民サービス**及び**県庁業務**においてもデジタル化を推進します。
※ 県庁及び県全体のデジタル化の推進に向け、令和3年度の組織改正において、総務部内に担当部長を新設するなど、体制の充実を図ることとしています。今後も引き続き、デジタル化のさらなる普及・促進を検討してまいります。

<主な事業>

- ・介護ロボット導入支援事業 64,000千円（54頁）

・介護事業所におけるICT導入支援事業	63,000千円（54頁）
・社会福祉施設等におけるICT導入支援事業（2年度2月補正）	42,350千円（54頁）
・障害福祉分野におけるロボット等導入支援事業（2年度2月補正）	21,721千円（54頁）
	（既定予算とあわせ 30,721千円）
・中小製造業向けスマート化推進事業（千葉県IoT推進ラボ）	15,300千円（97頁）
・「働き方改革」推進事業	40,000千円（99頁）
・スマート農業導入支援事業	30,000千円（108頁）
・外国語サイトによる情報発信事業【新規】（2年度2月補正）	24,300千円（85頁）
・県立学校ICT環境整備事業（2年度2月補正・3年度当初あわせ）	673,627千円（25頁）
・ICTを活用した児童相談所業務改善事業	42,543千円（38頁）
・デジタル技術の活用等による業務改革の推進【一部新規】	96,556千円（132頁）

子ども・子育て

- **私学教育の振興と保護者負担の軽減**を図るため、学校法人の教育に要する経常的経費、授業料、奨学のための給付金等を助成します。
※ 私立学校経常費補助（一般補助）については、6月交付に必要な額を計上し、その後の交付分については、今後の補正予算において対応する予定です。
- 感染症等の環境の変化により増加している、いじめ・不登校等の悩みを解消するため、**スクールカウンセラーを増員**するとともに、身近なツールである**SNS**を活用した**相談体制を拡充**します。
- **保育士の確保・定着対策、待機児童の解消等**を図るため、保育士の**給与改善、保育所整備**や賃貸物件を活用した新設等に対する**県単独補助**については、引き続き実施します。
- **高額な不妊治療費の負担を軽減**するため、令和3年1月1日以降の治療から、助成対象となる夫婦の**所得制限を撤廃**し、2回目以降の**助成額を引き上げる**など、制度の充実を図ります。
- **児童虐待対策**に総合的に取り組むため、**児童相談所職員の増員**や関係職員に対する研修、専門家・学校との連携強化、里親数の増加を図る取組などを進めるとともに、乳児院や児童養護施設等における看護師の配置や職員の雇上げに係る費用を助成します。

〈主な事業〉

・私立学校経常費補助（一般補助）	11,685,372千円（22頁）
・私立高等学校等就学支援事業	8,490,000千円（22頁）
・私立高等学校等奨学のための給付金事業	480,000千円（23頁）

・学校におけるいじめ対策・不登校児童生徒支援の推進	976,232千円（30頁）
・千葉県保育士処遇改善事業	1,999,500千円（32頁）
・保育所整備促進事業	382,000千円（33頁）
・賃貸による保育所・小規模保育事業所緊急整備事業	670,000千円（34頁）
・特定不妊治療費助成事業	1,842,000千円（37頁）
・児童相談所の機能強化	44,143千円（38頁）
・児童虐待防止対策事業	535,855千円（39頁）
・学校との連携機能強化	104,691千円（40頁）

福祉・医療

- **介護人材の確保対策**について、新規就業や介護職員のキャリア形成に向けた支援を行うとともに、ベトナムからの留学生については、引き続き、**受入体制の充実**を図ります。
- **高齢者や障害のある方が優先駐車スペース**を適正に利用できるよう、新たに**利用証**を交付する**制度を導入**するとともに制度の周知を図ってまいります。
- 令和4年度末に廃止する予定の袖ヶ浦福祉センターの利用者など、**重度の強度行動障害のある方**を新たに受け入れる**民間施設の整備**に係る費用の助成を大幅に増額します。
- 地域医療を支える**医師・看護師等を確保**するため、**修学資金**の貸付けや若手医師のキャリア形成支援、医師少数区域等への**医師派遣**に対する**助成等**を増額します。
- 重篤な小児救急患者の救命率向上を図るため、365日24時間受け入れ可能な、**本県初の小児救命救急センター**の運営費を助成します。
- 老朽化等により再整備が必要な医療、社会福祉施設のうち、**千葉リハビリテーションセンター**については基本及び実施設計を、**千葉県社会福祉センター**及び（仮称）**千葉県総合救急災害医療センター**については、建設工事を実施します。
- **病院事業会計**では、新型コロナウイルス感染症の影響などにより、令和2年度末で**45億円の資金不足**が見込まれるため、2月補正予算において、**一般会計**から、**長期貸付金**により支援します。また、令和3年度も資金不足が見込まれており、当初予算では、給与費や材料費等の一部を計上留保します。今後、**改革プラン**を策定した上で、補正予算において年間所要額を計上します。

〈主な事業〉

・介護人材確保対策事業	448,970千円（52頁）
・ちば障害者等用駐車区画利用証事業【新規】	6,100千円（51頁）

・袖ヶ浦福祉センター利用者受入等支援事業	185,525千円 (59頁)
・重度の強度行動障害のある方への支援体制整備事業	94,916千円 (59頁)
・医師確保関係事業	1,013,880千円 (42頁)
・小児救命救急センター運営費補助	141,076千円 (44頁)
・千葉リハビリテーションセンター再整備事業	275,438千円 (58頁)
	(債務負担行為595,000千円)
・千葉県社会福祉センター整備事業	1,568,429千円 (50頁)
・(仮称)千葉県総合救急災害医療センター施設整備事業	3,130,493千円 (47頁)
・病院事業会計への長期貸付金(2年度2月補正)	4,500,000千円 (47頁)

安全・安心

- 近年多発する災害に備え、ブルーシートや乳児用ミルク、感染症対策のための消毒液等の**備蓄物資**の必要数を**確保**するため、予算を増額します。
- **高齢者福祉施設や障害者支援施設**等の入所者の安全を確保するため、**非常用自家発電設備**等の整備に対し助成します。また、病院、避難所等の**重要給水施設**における水の安定供給を確保するため、**水道事業者**が行う**非常用発電設備**の整備について、**新たに助成**します。
- 台風や集中豪雨による被害を踏まえ、氾濫した際に**被害の大きい河川**に、住民の方もインターネットで状況が確認できる**監視カメラ**を設置します。また、**小規模河川**については、**氾濫推定図**の作成を進めます。これにより、周辺に人家のない河川などを除いた、ほぼすべての河川について**浸水想定図**が**完成**します。
- **一宮川**については、中流域で実施する護岸法立工事に**本格着工**いたします。
 - ※ 河川・海岸・砂防、一宮川流域浸水対策特別緊急事業、農地防災、交通安全施設整備などについては、継続事業や工程上年度当初から必要な事業のみを計上しており、今後の補正予算で対応することを予定しています。

〈主な事業〉

・備蓄物資整備事業	253,000千円 (65頁)
・非常用自家発電設備等整備事業(2年度2月補正)	575,519千円 (73頁)
	(既定予算とあわせ 871,839千円)
・水道施設緊急電源確保対策事業補助金【新規】	82,700千円 (67頁)
・河川監視カメラ設置事業【新規】(2年度2月補正)	64,000千円 (68頁)
・氾濫推定図作成事業【新規】	70,000千円 (67頁)
・一宮川流域浸水対策特別緊急事業(2年度2月補正)	3,270,000千円 (70頁)
	(既定予算とあわせ 4,998,000千円)

オリンピック・パラリンピック・魅力発信

- 延期となった東京オリンピック・パラリンピックについては、引き続き、**万全な受入体制整備**と円滑な運営、PR、文化振興、教育等必要な経費を計上するとともに、**ホストタウン**等において、選手にPCR検査を実施するなど、**感染症対策**も実施します。
- 観光地の魅力向上を図るとともに、観光施設、農林水産物、文化など、千葉の魅力を国内外に発信します。

〈主な事業〉

- ・ 聖火リレー準備・運営事業 209,500千円（80頁）
(2年度繰越予算とあわせ778,500千円)
- ・ 事前キャンプ受入事業 180,000千円（80頁）
- ・ 東京2020ライブサイト等イベント実施事業 23,000千円（81頁）
(2年度繰越予算とあわせ88,000千円)
- ・ 東京2020大会の文化プログラムを契機とした文化力向上事業 4,379千円（82頁）
(2年度繰越予算とあわせ214,969千円)
- ・ ホストタウン・事前キャンプ地における新型コロナウイルス感染症対策事業【新規】 870,000千円（81頁）
- ・ 千葉の魅力発信推進事業 195,500千円（86頁）

産業・雇用・基盤整備

- **中小企業振興資金**については、感染症により中小企業等の景況悪化が長引く恐れがあることから、令和2年12月補正で拡大した、**過去最大の融資枠1兆1,400億円**を継続します。
- 感染症の影響等により悪化している**雇用状況を改善**するため、ジョブサポートセンター等における就労相談、セミナー、交流イベントなど、就職・再就職等のための各種支援策を充実いたします。
- **飼料用米**などの新規需要米等への**転作**を一層促進するとともに、近年、発生地域が拡大している**ジャンボタニシ**の防除対策経費の助成を増額します。また、デビュー2年目を迎える米の新品種「粒すけ」について、PRを強化し、消費拡大を図ります。
- **園芸産地**等の意欲ある農業者等が、**高収益**な作物・栽培体系に**転換**を図るために行う集出荷施設の整備や農業機械のリース導入に対し、引き続き助成します。

- **森林整備**を促進するため、造林・保育等に要する経費を助成するとともに、重要インフラ設備に隣接する風倒木を撤去するなど、**災害に強い森づくり**を推進します。
- **地域水産業**の活性化を図るため、漁業協同組合等が策定した「**浜の活力再生プラン**」に基づき実施する、**事業の合理化や収益向上**のための取組に対する助成を増額します。
- 県民生活の利便性向上、安全・安心を確保するとともに、**経済活性化・観光振興**等につなげるため、**道路ネットワークの整備**を進めていきます。令和3年度は、**北千葉道路、銚子連絡道路、長生グリーンライン、圏央道大栄横芝間**等の整備促進を図ります。

※ 土地改良、森林整備、漁港建設、道路ネットワーク、港湾、公共土木施設等長寿命化対策などについては、継続事業や、工程上年度当初から必要な事業を計上しており、今後の補正予算で対応することを予定しています。

<主な事業>

・ 中小企業振興資金	380,000,000千円 (93頁)
・ 千葉県ジョブサポートセンター事業	69,247千円 (98頁)
・ 飼料用米等拡大支援事業	355,800千円 (101頁)
・ ジャンボタニシ緊急防除対策事業	88,940千円 (106頁)
・ 水稻新品種「粒すけ」PR事業	40,000千円 (110頁)
・ 千葉県農産産地パワーアップ事業 (2年度2月補正・3年度当初とあわせ)	396,500千円 (107頁)
・ 千葉県園芸産地パワーアップ事業 (2年度2月補正・3年度当初とあわせ)	1,501,051千円 (107頁)
・ 森林整備事業	317,157千円 (113頁)
・ 浜の活力再生プラン推進支援事業	311,092千円 (116頁)
・ 道路ネットワーク事業 (2年度2月補正・3年度当初とあわせ)	59,032,816千円 (118頁)
	(債務負担行為 16,703,000千円)

